

アグリ筑西 2022 12月号

冬も本番が近付いてきました。年越しに向けて、体調を崩さないように作業しましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel: 0296(24)9206
Fax: 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス! ↑

「アミスター20フロアブル」「ファンタジスタ顆粒水和剤」が ダイズ紫斑病に効きにくい事例があります

ダイズ紫斑病では過去にも、県内で「トップジンM水和剤」等(成分名:チオファネートメチル)に対する耐性菌が確認され、本剤の使用を中止してきた経緯があります。近年さらに、筑西市、下妻市等の県西地域を中心に、ダイズ紫斑病の「アミスター20フロアブル」(成分名:アゾキシストロビン)及び「ファンタジスタ顆粒水和剤」(成分名ピリベンカルブ)に対する感受性の低下傾向が認められています(茨城県農業総合センター農業研究所 令和2年度研究成果より)。

これらの剤を使用したにも関わらず、紫斑粒率が2~3割と多発するような、感受性低下が疑われる場合には、他の薬剤に切り替えましょう。

なお、県農業研究所による調査の結果、「アミスター20フロアブル」(成分名:アゾキシストロビン)感受性低下菌に対しては、「ブランドム乳剤25」(成分名:ジフェノコナゾール)および「ゲッター水和剤」(成分名:ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル)の発病抑制効果が高いことが分かっています。

表 「アミスター20フロアブル」(成分名:アゾキシストロビン)への感受性低下ダイズ紫斑病菌に対して高い発病抑制効果を確認した剤の登録内容(令和4年11月9日現在)

薬剤名	希釈倍数 ・使用量	使用方法	使用時期	本剤の 使用回数	散布液量	成分および使用回数とFRACコード
ブランドム乳剤25	3000~5000倍	散布	開花後~ 収穫7日前まで	2回以内	100~300ℓ/10a	ジフェノコナゾール(2回以内)(3(G1))
	16~24倍	無人ヘリコプター による散布			800mℓ/10a	
ゲッター水和剤	1000倍	散布	収穫14日前まで	3回以内	100~300ℓ/10a	ジエトフェンカルブ(4回以内) (但し、種子粉衣は1回以内)(10(B2)) チオファネートメチル(4回以内) (但し、種子への処理は1回以内)(1(B1))

【農薬使用に関する注意】

参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容についての細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する方は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

農薬の新しい安全性評価導入等にとまじり、直ちに使用方法を変更するよう注意喚起される場合があります。その場合は、ラベルの使用方法ではなく、変更後の使用方法に従って使用してください。注意喚起の有無は、農薬の購入先や茨城県病害虫防除所のホームページ等で確認してください。

かんしょ栽培に初めて取り組みました



桜川市本木の萩原裕一さんは数年前のタバコ廃作後、タマネギなどの野菜を栽培していましたが、今年初めてかんしょを1ha作付けしました。これから本格栽培に向け、収穫機ポテカルゴと洗浄機も導入しました。今年は天候に恵まれ、順調に生育したことから10月中旬から収穫開始し、約2t/10a収穫することができました。

今後は規模拡大とキュアリング倉庫の建設を検討しています。



冬至向け立体栽培の力ボチャに取り組んでいます！

桜川市真壁町上谷貝の藤田益弘さんのグループ4名は冬至向けの力ボチャ栽培に取り組んでいます。ハウス内の立体栽培による1株1果づけのため、無傷のきれいな果実が収穫できます。8月上旬に定植し、11月上中旬ごろに収穫する作型で、収穫後、倉庫で熟成させた後、冬至前に出荷します。東京のスーパーとの契約栽培で「天空一果」の名称で販売しています。冬至向けの高級力ボチャは生産量が少なく需要があるため、有利な取引となっています。



ドローンを使った防除事例が増えています

筑西地域では、令和4年10月現在、大規模普通作経営体を中心として、約40台の産業用ドローンが導入されています（筑西地域農業改良普及センター調べ）。

水稻の除草剤への使用や、小麦の赤かび病の防除、大豆の追肥や殺虫殺菌剤の散布、ネギのべと病やアザミウマ類に対する防除作業実施など、実際に活用される場面が増えてきました。

参考に、筑西地域で実際にドローン散布されたことのある農薬事例（無人航空機向けの農薬登録内容）をご紹介します。（ツイッター(右図)もご覧ください。）

省力効果の高いドローンの活用を検討してみませんか？



表 管内でドローン散布事例のある農薬の登録内容(一部のみ抜粋、水稻除草剤は多数の事例があるため省略)(令和4年11月9日現在)

薬剤名	作物名	適用病害虫	希釈倍数・使用量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	散布液量	成分および使用回数とFRAC, IRACコード
シルバキュアフロアブル	小麦	赤かび病 赤さび病 うどんこ病	16倍	無人航空機による散布	収穫7日前まで	2回以内	0.8ℓ/10a	テブコナゾール(3回以内) (但し、根雪前は1回以内、融雪後は2回以内)(G1)
アミスター20フロアブル	だいず	紫斑病	16~24倍	無人航空機による散布	収穫7日前まで	2回以内	800ml/10a	アゾキシストロビン(2回以内)(11(C3))
ブランドム乳剤25	だいず	紫斑病	16~24倍	無人ヘリコプターによる散布	開花後~ 収穫7日前まで	2回以内	800ml/10a	ジフェノコナゾール(2回以内)(3(G1))
プレバソンフロアブル5	だいず	ウコンメイガ オオタバコガ マメシクイガ ハスモンヨトウ	16~32倍	無人航空機による散布	収穫7日前まで	2回以内	0.8ℓ/10a	クロラントラニプロール(2回以内)(28)
ザンプロDMフロアブル	ねぎ	べと病	8倍 16~24倍	無人航空機による散布	収穫14日前まで	3回以内	0.8ℓ/10a 1.6ℓ/10a	アメクトラジン(3回以内)(45(C8)) ジメトモルフ(3回以内)(40(H5))
ベネビアOD	ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類 シロイチモジヨトウ	20倍	無人航空機による散布	収穫前日まで	3回以内	1~2ℓ/10a	シアントラニプロール(4回以内)(但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内(但し、株元灌水は1回以内))(28)

【農薬使用に関する注意】

参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容についての細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する方は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

農薬の新しい安全性評価導入等にもとない、直ちに使用方法を変更するよう注意喚起される場合があります。その場合は、ラベルの使用方法ではなく、変更後の使用方法に従って使用してください。注意喚起の有無は、農薬の購入先や茨城県病害虫防除所のホームページ等で確認してください。



筑西地域女性リーダー先進事例研修会を開催しました！



11月11日、先進事例研修会を開催し、女性農業士11名と若手女性農業者3名が参加しました。

銚田市の女性農業士（イチゴ栽培）と、茨城町の元女性農業士（トマト栽培）を訪問し研修を行いました。

環境制御装置と外国人雇用を活用した大規模な施設野菜経営について学び、また農業経営における女性の役割について意見交換を行いました。活発な質疑応答が行われ、非常に有意義な研修となりました。